

すまいるたん



第280号
平成26年
3月13日

はい！東京新聞です

取材現場のつぶやき



「図書館の自由に関する宣言」について、以前この欄でご紹介しました。

図書館には、国民の「知る自由」を守

る責任がある。国民の「知る自由」は、

憲法が保障する「表現の自由」を守り、

憲法が定める「国民主権」、政治の大

事なことは私たち国民が考えて決める

ということを実現するために、とても

大切なこと。だから図書館は、権力の

介入や社会的圧力に左右されずに、図

書館の判断で、なるべく幅広く本や雑

誌を集め、貸し出す役割があり、自由

がある。宣言そのものはとても長い文

章ですが、おおむね以上のような内容

です。

テルダム（オランダ）の隠れ家に身を潜めていたフランク一家の次女、アンネ・フランクが書いた日記です。のちに一家はナチスに逮捕され、アンネは強制収容所で病死しました。日記は支援者が保管し、戦後も生き残った父親に託され、のちに出版されました。

おそらく、ナチスのユダヤ人迫害の歴史を、日本の子どもたちが最初に知るの

は「アンネの日記」を通してだと思いま

す。新年度から道徳の授業で使われる副

教材「私たちの道徳」にも登場します。

その本を、うっかり破ってしまったので

はなく、明らかにその本を狙って、わざ

と破っています。その本をあえて私たちに読まさないようにしています。

け出す方式にしました。本を守るためにはやむを得ないことですが、私たちが図書館で本を読む時は、初めからその本を知っているとは限りません。自由に本を手に取りれる開架式なら、本の題名を見ながら、手に取って読めます。多くの良い本に出会えます。南千住図書館も、多くの本が開架になっています。

真相は分かりませんが、この事件を軽く見ずに報道していきたいと思いま

さて、この原稿を書いているのは三月八日です。三月十日は、東京大空襲から六十九年。三月十一日は、東日本大震災と福島第一原発事故から三年。その関係の記事を、いつも以上に多く掲載する、とても大切な時期です。

また、四月からは消費税が増税されます。世間では、「増税前がお買い得」とばかりにさまざまなセールが行われています。私も、剣道の稽古をしていますので、高校時代から使っている防具を買い換えようかどうか、悩んでいます。

ですが、税金で大切なものは、いくら払うかだけでなく、払った税金が何に使われるかです。増税後に消費税が、私たちの暮らしに役立つ使われ方をしているのか、むだ遣いをしていないか、今まで以上にしっかりと監視して報道していかなければ、と思います。

一部の図書館は、「アンネの日記」を閉架、つまり図書館の書庫にしまい、閲覧や貸し出しの申し込みがあったときだ

「アンネの日記」は、ナチス・ドイツのユダヤ人迫害から逃れるために故国ドイツからオランダへ行き、アムス

「アンネの日記」は、ナチス・ドイツのユダヤ人迫害から逃れるために故国ドイツからオランダへ行き、アムス

「アンネの日記」は、ナチス・ドイツのユダヤ人迫害から逃れるために故国ドイツからオランダへ行き、アムス

（東京新聞 社会部 部次長

「前・したまち支局長」 榎本哲也）